

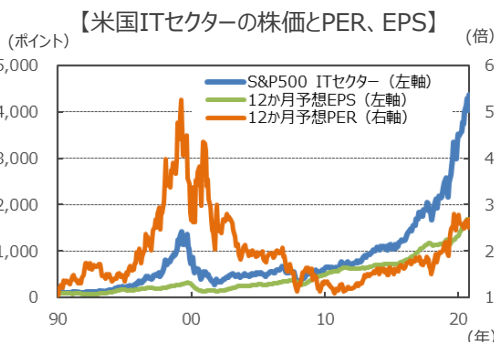


今日のキーワード 大きな社会的役割を担う『AI』の発展は続く

現在、『AI』は第3次ブームと言われ、ビッグデータと深層学習を基に、あらゆる分野で幅広く活用されています。例えば、日常生活では『AI』家電やスマートフォン、企業においてはモノの需要や仕入れ予測、販売価格設定の分析等が挙げられます。こうしたことも反映して、米国株式市場のITセクターは極めて好調な状況が続いています。これまで好調に株価が上昇してきている『AI』関連への投資は既に旬を過ぎたのでしょうか？

ポイント1 米国のITセクターの株価は極めて好調

- 米国のITセクターは2021年10月末で最高値を更新しており、極めて好調です。株価収益率（PER）を見ると、2020年夏以降は25～28倍程度と高い水準で推移していますが、2000年のITバブルの頃の50倍超と比べれば、それほど高くないと考えられます。



(注1) データは1990年12月から2021年10月末。
(注2) S&P500 ITセクターは1990年12月末を100として指数化。
(出所) Bloombergのデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成

ポイント2 SDGsの推進にも『AI』は必要

- 技術の発展や進歩を見る上で「イノベーションのSカーブ」という考え方があります。これは、技術が開発された当初は緩やかな普及から始まり、その進歩に伴って急速に普及し、その後普及のペースはダウンして市場が成熟化するというものです。
- しかし、この考え方は『AI』には当てはまらなさそうです。『AI』の技術は開発のステージが長く、活用できる分野も幅広く、利用対象にもほぼ制限がありません。また、当初の目的に応じた開発後も、改良や改善を加えることで、その市場規模は益々大きくなると考えられます。また『AI』は、人手不足の解消や、効率性の向上、無駄の排除等に活用できることから、「SDGsを推し進めるために必要なもの」と考えることもできます。

今後の展開 大きな社会的役割を担う『AI』の発展は続く

- 『AI』には大きな社会的な役割があり、私達が『AI』の活用を追い求める限り、『AI』の発展は続いていくと考えられます。そして『AI』分野への投資は、私達自身の暮らしを、充実したもの、持続可能なものへと進めて行く為に重要です。その結果として投資収益が上がるのが期待されます。

ここも
チェック!

2021年11月 5日 新型コロナワクチンで脚光 『核酸医薬』が凄いワケ
2021年10月29日 リビジョン・インデックスから見る今後の米国株式市場

WEBセミナー開催 参加無料 WEBセミナーシリーズ Action2030

AIに未来はあるのか!?

2021.11.30 Tue. 19:30~

MC 青木源太 フリーアナウンサー

お申込み受付中 ▶ 詳細はこちら

https://www.smd-am.co.jp/event/action2030/entry2/

GUEST 前田裕二 SHOWROOM株式会社 代表取締役社長

※上記は過去の実績および当資料作成時点の見通しであり、当ファンドの将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。見直しは今後、予告なく変更する場合があります。

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友DSアセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。